

シンガポールレポート

日 程

- 1日目 7月26日
中部国際空港発
シンガポール着 ホームステイ開始
- 2日目 7月27日
フェンシャン小学校で児童と交流
- 3日目 7月28日
フェンシャン小学校で児童と交流
- 4日目 7月29日
国境越え体験。マレーシアヘジョホールバル市内観光（アブバカーリモスク、王宮博物館など）
- 5日目 7月30日
シンガポール市内観光（マライオン像、シンガポール植物園、ナイトサファリ見学など）
- 6日目 7月31日
シンガポール発
中部国際空港着



フェンシャン小学校では絵画にチャレンジ

バティック染めは、色の組み合わせがたくさんありおもしろかったです。中国の食文化である月餅や亀の甲羅の形の食べ物を食べました。ケトウバというマレーの食べ物は、お餅みたいでおいしかったです。インドのヘナ・アートは、絵がくつきりと残りますかと思いましたが、いろいろな食べ物や遊びなどの文化が

ホームステイ先では、言葉が通じなくて身振り手振りで私の気持ちを伝えたので、とても大変でした。私たちが日本に帰るとき、夜遅いのに見送りに来てくれてすごくうれしかったです。別れがさみしくなりませんでした。ガラス越しに見えなくなるまで、ずっと手を振ってくれました。またいつか会いたいと思いました。
(南部小六年 大塚葵生)



フェンシャン小学校の仲間と記念撮影

学べてとても良い経験になりました。
(南部小六年 新海友梨)

シンガポールで学んだことは水の大切さです。なぜならほとんどの水をとなりの国のマレーシアから買っているのです。日本では考えられないことですが、一度使った水をきれいにし、もう一度使っていました。
(南部小六年 金銅悠太)

私は、シンガポールに行って、中国、インド、韓国の文化を学びました。シンガポールには、いろいろな国の人が住んでいます。肌の色が違う人たちが仲良く暮らしていました。けんかもせずに暮らせるのは、それぞれの文化を皆が認め合っているからだだと思います。
(南部小六年 植田京香)

いろいろな人種の人たちがいる中で、わけへだてなく共通語の英語で仲良く生活していることが日本では見られないことだと思いました。日本ではみんなと違う考えや行動をすると変わっていると思われます。そのため自分の考えや表現をうまく表せないところがあります。シンガポールでは、文化や宗教も違う人たちが仲良くしているのは、さすが国際的な国だと思いました。

(南部小六年 新美京加)

中国から伝わったライオンダンス（獅子舞）。赤色の服は男、紫色の服は女というマレー文化。インド文化のタトゥーのものは、ヘナという植物からとれるなど、中国文化・マレー文化・インド文化などいろいろな国の文化を学ぶことができました。シンガポールはいろいろな国の文化が集まって新しい文化を作っているんだと感じました。
(南部小六年 三浦明日香)